

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 206-8566  
 住 所 東京都稲城市矢野口4015-1  
 氏 名 株式会社よみうりランド  
 代表取締役社長 溝口 烈 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社よみうりランド		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区菅仙谷4-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	遊園地の経営、競馬場の施設運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,147	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

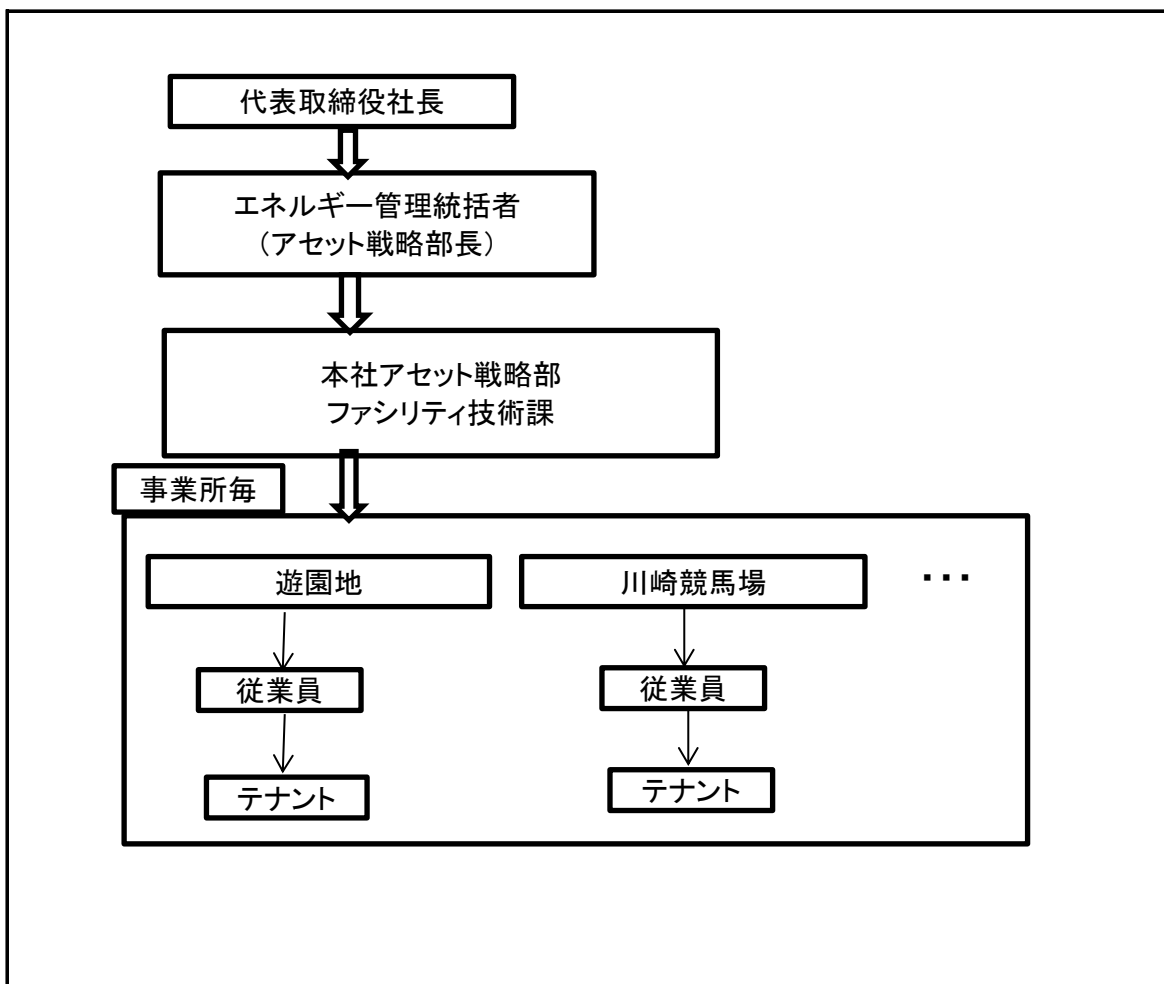
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- (1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を促進する。
- (2) 目標を定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- (3) 温室効果ガス排出量の削減に寄与するサービスの社会への提供を行う。  
また、川崎市内の事業所については、その事業内容及び地域社会などの環境を考慮し、それぞれの方針及び目標を定めて活動する。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- (1) 新規施設設置や既存施設リプレースに関し、省エネ性の高い設備の導入を予算化の時期から見込む。
- (2) 予算化した設備の導入を実施。
- (3) 設置した設備の省エネ性能の検証を行い、次回以降の新規施設設置や既存施設リプレースの更なる省エネ性能向上につなげる。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 5,625 (調) 5,583 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 5,458 (調) 5,417 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) 167 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) 167 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		事業所ごとに設定	
原単位の単位		事業所ごとに設定	
基準年度の値		100.0	
目標年度の値		97.00	
削減率		3.0 %	

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図る為、省エネ法同様に排出量原単位の数値を年平均1%削減することを前提に目標を設定した。  
エネルギー消費量が、競馬場においては場内及び場外開催日数に、遊園地においては営業時間及び入場者数に大きく左右される為、総量削減の目標は設定はしているが実現は難しく、原単位による削減の目標を主として設定している。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明に更新する。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の空調や照明の消灯を徹底する。 ③遊戯機ヒューストンの2台同時運転回避。 ④川崎競馬場場内照明の随時LED化を実施する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(1)遊園地事務所の空調機全台更新。 (2)プール内レストランの大型空調機全台更新。 (3)ゴルフ練習場クラブハウス大型空調機更新。 (4)川崎競馬場スタンド空調用吸収式冷凍機更新。 (5)施設全体の随時照明のLED化実施。 (6)遊園地遊戯機関連大型コンプレッサー更新。 (7)遊園地遊戯機関連電動機更新。 (8)プール関連大型ポンプ更新。 (9)川崎競馬場のパドック照明LED化
---

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	設置に適した大型屋根等がないため大規模に市内の実施は見送る。(検討の上、市外に設置。)施設新築の際には、設置を検討する。
風力	○	風力発電の安定性や費用対効果等から設置検討除外。
バイオマス	○	弊社ゴルフ場等から発生する間伐材や芝等を燃料にしたバイオマス発電所やボイラー設置を検討した。費用対効果が大きく合わず、実施を見送った。
未利用エネルギー		
その他(グリーン電力)	○	遊園地のイルミネーションにてグリーン電力の購入、使用を検討。
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物の減量化及び分別化の推進を図る。 ペットボトルのキャップやプルタブの回収を積極的に行う。</li> <li>2. グリーン購入の推進を行う。</li> </ol>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	5,625	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,147	KL
-------	----

ウ 事業所の数

6
---

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
遊園地	川崎市多摩区菅仙谷4-1-1	3,122 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
プール	川崎市多摩区菅仙谷4-1-1	1,290 t-CO <sub>2</sub>
川崎競馬場	川崎市川崎区富士見1-5-1	1,141 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>